

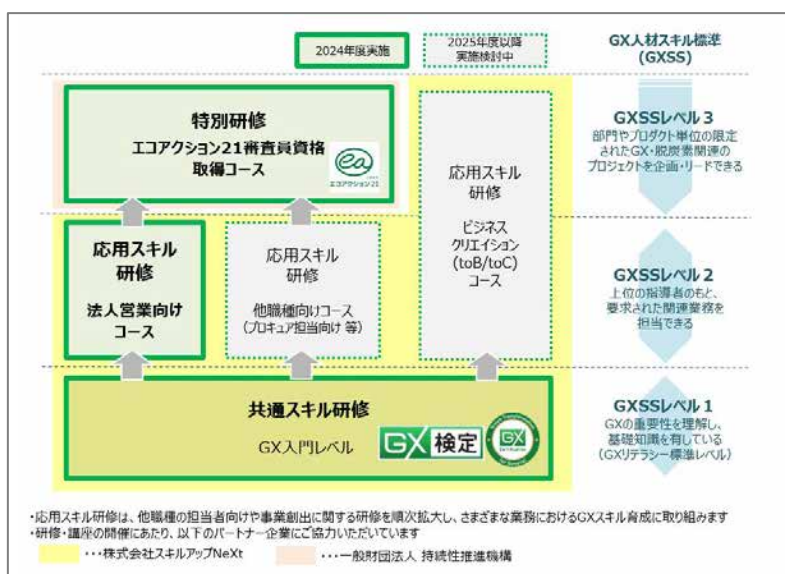
## NTTドコモグループ、国内初、GXリーグ内で提唱された「GXスキル標準」に準拠した人材育成プログラムを導入

NTTドコモグループ<sup>※1</sup>は、2040年までにサプライチェーンも含めた温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「2040年ネットゼロ」<sup>※2</sup>の実現に向け、自社やサプライチェーンの温室効果ガス排出量削減を牽引できるGXスキルを持つ人材（GX人材）<sup>※3</sup>の育成に取り組んでおります。この度、NTTドコモグループは、経済産業省がリードするGXリーグ<sup>※4</sup>の「GX人材市場創造ワーキング・グループ」が2024年5月14日に提唱した「GXスキル標準（GXSS）<sup>※5</sup>」に準拠した人材育成施策である「環境分野スキル育成プログラム」を制作し、2024年5月より国内で初めて導入しました<sup>※6</sup>。

「GXスキル標準」は、GXに関して身につけるべき知識などを定義した「GXリテラシー標準」と、GXに必要な人材類型やロールを定義した「GX推進スキル標準」から構成されています。規制や要請に応じた温室効果ガス排出量策定・削減・開示を行う守りのスキルに加え、昨今、重要視されている、脱炭素をビジネス成長の機会と捉え、GX関連のソリューションを開発できる攻めの人材に必要なスキルが定義されています。

「環境分野スキル育成プログラム」は、GXリーグにおける「GX人材市場創造ワーキング・グループ」で代表リーダー企業を務める株式会社スキルアップNeXt<sup>※7</sup>と共に制作し、GXSSレベル1に相当するGXの重要性を理解し基礎知識を有するための「共通スキル研修」と、GXSSレベル2に相当する上位の指導者のもと要求された関連業務を担当できるようになるための「応用スキル研修」で構成されています。

加えて、さらに現場に即したGXスキル強化として環境省が策定し、一般財団法人持続性推進機構<sup>※8</sup>が運営する日本独自の環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の審査員資格の取得に向けた研修を設けています。



「環境分野スキル育成プログラム」

導入当初は、攻めの GX スキル習得として、法人営業担当者を対象に実践的なプログラムを実施し、ICT を通じた脱炭素社会の実現に向けてお客さまに適したソリューションを提案できる GX 人材を育成します。今後は、他職種へのコース拡大や、ビジネス創出に向けた専門コースを制作し、「2040 年ネットゼロ」のさらなる推進と事業の両立をめざします。

今後も NTT ドコモグループは、お客さまやパートナー企業とともに社会全体の脱炭素に取り組んでまいります。

- ※1 株式会社 NTT ドコモ、NTT コミュニケーションズ株式会社、NTT コムウェア株式会社
- ※2 [「ドコモグループ 2040 年ネットゼロ」](#)
- ※3 GX(Green Transformation)は、自然環境に負荷の少ないエネルギー活用を進め、脱炭素を推進する活動を経済成長の機会と捉え、世の中全体を変革しようとする取り組みです。GX 人材は、脱炭素に関する基本知識を持った上で、その一連の活動の一端を担える人材です。
- ※4 GX リーグは、2050 年カーボンニュートラル実現と社会変革を見据えて、GX への挑戦を行い、現在および未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が同様の取組を行う企業群を官・学と共に協働する場です。
- ※5 GX スキル標準の詳細については以下のサイトを参照ください。  
<https://gx-league.go.jp/news/20240514/>
- ※6 2024 年 7 月 30 日時点 株式会社スキルアップ NeXt 調べ。
- ※7 株式会社スキルアップ NeXt は、GX/SX 人材を育成する教育研修を提供しています。入門から実践、守りから攻めまでの GX をカバーする体系的なカリキュラムで、企業の GX・サステナビリティ経営を支援します。
- ※8 一般財団法人 持続性推進機構は、持続可能な社会の実現に資する各種事業を展開しています。特に、環境経営の推進をめざし、中小企業の環境マネジメントシステム構築を伴走支援するためのエコアクション 21 中央事務局を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 NTT ドコモ 経営企画部 サステナビリティ推進室 環境事業開拓 sus-promotion@ml.nttdocomo.com

**「環境分野スキル育成プログラム」の概要**

項目	カリキュラム概要
共通スキル研修	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>脱炭素化の背景</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 脱炭素・カーボンニュートラルの定義</li><li>○ 気候変動問題</li><li>○ 国際団体・会議</li></ul></li> <li>● <b>脱炭素化に向けた動き</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ グローバルトレンド</li><li>○ カーボンプライシング</li><li>○ 脱炭素化のセオリー</li></ul></li> <li>● <b>世界の動向</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 世界の動向概観</li><li>○ 主要国の動向</li></ul></li> <li>● <b>日本政府の動向</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 日本政府の動向</li></ul></li> <li>● <b>企業の取組</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 脱炭素経営の推進</li><li>○ イニシアティブへの対応状況</li><li>○ GHG 排出量の算定</li><li>○ GHG 排出量削減の実行</li><li>○ 脱炭素ソリューション</li><li>○ 製品別の取組み</li></ul></li> <li>● <b>脱炭素の技術</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 電源の脱炭素化</li><li>○ 脱炭素化を支える技術</li><li>○ ネガティブエミッション技術</li></ul></li> <li>● <b>通信業界に求められる対応</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 通信業界における具体的な取組み事例</li><li>○ マインド・スタンス</li></ul></li></ul>

**応用スキル研修  
(法人営業向けコース)**

● **脱炭素経営の概要**

- 脱炭素経営の広がり
- 気候関連リスク・機会の把握
- サプライチェーン排出量の概要
- Scope1, Scope2 の重要性
- 排出削減計画の策定
- NTT ドコモグループの取り組み

● **顧客ニーズの特定**

- 取り組み状況の把握
- 方向性の特定
- 顧客を取り巻く環境の変化

● **サービスの GX 価値を伝える**

- 製品・サービスの GX 価値の認識
- サービス導入効果の整理
- 製品・サービスの競合比較

● **【演習】顧客を想定した事前ワークとグループワーク**

- 想定顧客のニーズの特定
- 製品・サービスの GX 価値および導入効果の整理
- GX エレベーターピッチ